

Topics 1 看護部「療養サポートセンター」

「療養支援」では 当院通院中の患者さん の次のような相談に対応しています。

夫の脳卒中の再発が心配です。生活の中で何を注意すればいいでしょうか？



担当分野：脳卒中

人工肛門をつくといわれたけど、生活はどう変わりますか？仕事は？旅行は？



担当分野：皮膚・排泄

最近物忘れがひどくて・・・大丈夫かしら？



担当分野：高齢者

父の床ずれを悪くしないためには何に注意すればいいですか？



担当分野：^{えんげ}嚥下

今後治療を受ける抗がん剤の副作用ってどんなものがあるんだろう？



担当分野：化学療法

祖母ですが、最近よくむせて食べにくそうです。どうすればいいですか？



担当分野：がん看護

先生から説明された放射線治療ってどんなものだろう？



担当分野：放射線治療

母ががんの治療中です。様々な症状が出ています。家族でどうサポートしてあげればいいんでしょうか？



上記のような病気の治療や日々の生活について相談したい、治療と生活の調整に関して悩んでいる、不安があるなど、療養に関する相談がある方は下記の方法でご予約ください。

「療養支援」予約方法 (1回30分 完全予約制)

1 病院へお越しください(電話予約は出来ません)

2 療養サポートセンターの受付で問診票を記入し、予約をお取りください

3 予約日：直接、療養サポートセンターにお越しください



Topics 2 新病院設立20周年を迎えました!!

当院は、現在の柴原町に新設オープンをして、平成29年11月で20周年を迎えました。

元をたどりますと、当院は昭和19年に豊中駅近くの民間病院を買収し、豊中市民病院としてスタートをし、昭和29年の岡上の町への移転を機に市立豊中病院と改称しました。その後、長年にわたり皆さんの生命と健康を守ってきましたが、医療の高度化・複雑化に対応するには建物が古く手狭になってきたため、平成9年11月3日に現在の柴原に移転をしました。



平成6年柴原町に新病院建設工事スタート

新病院建設にあたっては順風満帆ではありませんでした。平成6年の集中豪雨による浸水で重機類が使用できなかったことや、阪神・淡路大震災によって土砂の搬出経路が遮断されるという2度の天災で、約1年間の遅れを余儀なくされました。その後、当時ホテル風の病院として多くの脚光を浴びつつ新設オープンしましたが、このような苦労を経たこともあり、感激もひとしおでした。

その後は、国指定による地域がん診療連携病院の指定や大阪府の地域医療支援病院の承認など、地域の急性期医療とセーフティネットの役割を担ってきました。また平成28年には新たに最新鋭の手術支援ロボットを整備するなど、診療機能の向上にも努めています。

今後も安心して良質な医療の提供により、皆さまに愛され、信頼される病院となるよう職員一同、頑張っていきます。



平成9年11月新病院完成



移転当時の院内の様子

お知らせ

産後ケア



平成29年11月より、大阪府における産婦健康診査事業の開始に伴い、今までの産後1ヶ月健診が産婦健康診査に変わりました。

産婦健康診査とは？

今までの産後1ヶ月健診(問診、診察、体重測定、尿検査)に加えて、助産師が心の健康状態の確認をさせていただきます。健診の結果によっては、お母さんとお子さんが必要な支援を受けられるように市への報告や専門医療機関への紹介等を行っています。

豊中市産後ケア事業

平成29年12月より産後ケア事業を開始しました。退院後のお母さんやお子さんに対して、心身のケアや育児支援を産科病棟で行います。助産師が、育児相談や母乳栄養のサポートを行います。対象者は、当院で出産された方で他の条件があります。詳細は下記までお尋ねください。